

たねとりのわざ

-自家採種文化の継承を考える-

在来品種の生産、流通、消費に関心を持つ人が増えてきたのは喜ばしいことですが、生産の根幹を支える採種技術はどうでしょうか？在来品種の特性を維持するためには、作物の種類によって異なる採種管理はもちろん、採種者の経験とセンスも不可欠です。そこに在来作物の継承の難しさがあると同時に、自家採種には奥深い世界があります。

《基調講演》

野菜の種子はこうして採ろう

(一財) 広島県農業ジーンバンク 船越建明氏

《パネルディスカッション》

たねとりのわざ

山形赤根ほうれん草

採種農家 柴田吉昭氏

くろふじ
畔藤きゅうり

採種農家 新野惣司氏

だだちゃ豆

山形大学農学部附属

やまがたフィールド科学センター元准教授 赤澤経也氏

温海かぶ

在作研会長 江頭宏昌氏

コーディネーター

江頭宏昌氏

日時：2018年11月17日（土）13:30～16:30

会場：マリカ市民ホール（鶴岡駅前マリカ西館3F）

入場は無料で申し込みの必要はありません。

主催：山形大学農学部・山形在来作物研究会

お問い合わせ：山形在来作物研究会

〒997-8555山形県鶴岡市若葉町1-23山形大学農学部内

電話0235-28-2830(小笠原), 2829(平), 2852(江頭)